

# 第1回奈良県総合教育会議・議事録概要

日 時： 平成27年5月25日（月） 14：00～16：00

会 場： 奈良県庁 第一会議室

出席者： 荒井知事  
県教育委員会（吉田教育長、花山院、森本、藤井、高本各委員）  
松本顧問（京都大学前総長）

議 題：（1） 奈良県総合教育会議開催の経緯  
（2） 奈良県総合教育会議の目的  
（3） 奈良県総合教育会議の構成員  
（4） 奈良県総合教育会議が意見を聞く関係者又は学識経験者（案）  
（5） 奈良県教育振興大綱策定の課題の設定について  
（6） 奈良県総合教育会議の進め方（案）  
（7） 大綱策定に向けた今後の検討スケジュール（案）

## 第1回奈良県総合教育会議の概要

- ・ 知事の挨拶にはじまり、会議の進め方に関し、「奈良県総合教育会議運営要綱」「奈良県総合教育会議傍聴要領」が承認された。
- ・ 出席委員の自己紹介の後に、資料4（別紙）に従い、議題（1）～議題（4）に関して議長（荒井知事）より概要説明があった。
- ・ 議題（5）奈良県教育振興大綱策定に向けた課題の設定について、出席者から意見が出された。

各項目に関する主な意見の概要は、以下の通り。

（1）奈良県教育の目的、理念、理論について＝どのような人を育てていくのか。＝

- ① 奈良県教育の目的は何か。
  - ・ 地域ならではの教育、奈良らしい教育を大綱に掲げたい。

- ・ 古代からの日本人の特性（正直、勤勉など）を大切にし、地域や日本に誇りを持つことが奈良県らしさにつながるのではないかと。
- ・ 知識、行動力、責任感をもち合わせた人を育みたい。
- ・ グローバル人材、異文化理解ができる人材の育成を進めたい。
- ・ 意見を論理的に述べることのできるコミュニケーション術、発信力を備えた人を育てたい。

② 奈良県ではどのような教師を育てるべきと考えるのか。

- ・ 情熱、人間的な魅力を持った教師。
- ・ 知識を教えるだけでなく、ビジョンを伝えられる教師
- ・ よい先生の行動特性（コンピテンシー）をモデル化していく。
- ・ マイスター制度等を参考にした研修体制を構築していく。

(2) 奈良県教育の構造・制度の課題をどうとらえるのか。

- ・ 企業の研究と既存の大学との結びつきが大切である。産学連携も積極的に進めたい。これからの高等教育のあり方を研究したい。
- ・ 観光など実学に関する大学校を作っていきたい。
- ・ 神経系の発達は0才から5才までが大切なので、就学前教育に力を入れたい。
- ・ 県の小学生と中学生の通塾率が高い。この状態がよいのかどうか。学校教育制度のベストプラクティクスを学んでいい面を導入したい。

(3) 奈良県教育の環境整備をどのように行うのか。

- ・ 児童生徒の人口減少の中、どうサービスを提供していくのか、検討していく必要がある。
- ・ 公立と私立の教育機関における教員の資質向上を制度的に整えたい。
- ・ 耐震化や芝生化を進めていく。
- ・ 将来健康に暮らせるためにも、給食体制の充実が大切。
- ・ 地域におけるスポーツや芸術活動が充実する環境を整えていく必要がある。

(4) 教育と社会との関係をどのようにとらえるのか。

- ・ 社会人が、スキルアップしたり、新たな仕事に就くために学び直したい場合の受け皿が必要。奈良県独自の資格を創ってみてはどうか。
- ・ 学校と企業との接続については、職業訓練校から県内企業に就職させるようにするとよいのではないかと。本県は県外就職率が高いが、その引き

留めになることが期待できる。

- ・ 民間の職業訓練校と協定を結んで連携していくことも可能ではないか。
- ・ 教育と社会の関係において、貧困家庭の子どもの教育も大切である。十分な教育を受けられる体制を作っていくことも必要である。
- ・ 就労教育も含めた障害者の教育に取り組んでいきたい。

**(5) 教育現場の課題は何か。それとどう向き合うのか。**

- ・ いじめや校内暴力等の問題行動発生件数は、数年前は高かったが、先生の頑張りで減少傾向にある。
- ・ 規範意識は、関西が全体的に低い傾向にある。
- ・ 学習意欲に生まれつきの差異はないので、学校が意欲を高めていく責任があるということは認識している。
- ・ 体力は向上した。先生が頑張ると向上する。

**(6) 課題の検討についての進め方**

- ・ 課題の抽出、実情把握、整理に当たっては、統計的处理や県内関係者へのヒアリングを通じて行う。
- ・ 奈良県総合教育会議の内容は、知事、県教育長、市町村長、市町村教育長を構成員とする「奈良県教育サミット」に随時報告し、意見を聴取する。

以上を踏まえ、奈良県教育振興大綱の策定につなげていく。

以 上